

互換性バッテリー(非純正品)の火災に注意!

宮津与謝消防署管内で、電動草刈り機用の互換性バッテリー(非純正品)が発火し火災に至る事故が発生しました。全国的に互換性バッテリー(非純正品)を取り付けた電化製品のバッテリーが発火するという火災が急増しています。

火災が発生している電化製品は、コードレス掃除機、電動工具、電動自転車、ノートパソコン等があります。



互換性バッテリー(非純正品)とは

互換性バッテリー(非純正品)とは、電化製品本体を製造したメーカーとは異なるメーカーが製造したバッテリーです。インターネットなどで比較的安価で販売され、海外製が多いことが特徴です。

互換性バッテリー(非純正品)の抱えるリスク

- 1 純正品と比べ、設計不良で異常発生時に安全保護装置が作動しないリスクが高い。
- 2 純正品と比べ、品質管理が不十分な場合があり、普通に使っても事故に至るリスクが高い。
- 3 事故が発生した際、取り付けた機器メーカーの対応や補償を受けられない場合がある。

火災を防ぐためには!

火災の多くは粗悪な製品の使用やバッテリーが傷つくことで発生しています。

購入時に付属されているバッテリーを交換する場合は、メーカー指定品の使用を推奨します。

また、バッテリーを落としたり、衝撃を加えないように気を付けましょう。

バッテリーが充電できない、膨張している、発熱しているなどの異常を感じたら使用を停止し、販売事業者、製造又は輸入業者に相談してください。